

# 大学院単位認定

この公開講座・セミナー・シンポジウム等は大学院医学研究科の単位認定対象となっております。単位認定の条件や対象科目等は下記をご確認ください。

## 単位認定条件

大学院生の方は、受講後、「出席票」を教務課(大学院担当)までご提出ください。  
出席票は、履修管理システムからダウンロードすることができます。

### 【履修管理システム】

博士課程 : <http://lms.juntendo.ac.jp/>

修士課程 : <http://mst.juntendo.ac.jp/>

## 認定科目

### 【博士課程】

**Current Topics** ※必修「大学院特別講義」に振り替えることはできません。

### 【修士課程(医科学コース)】

選択科目「**大学院セミナー**」

第58回

# 難病・遺伝医学 セミナー

講演：遺伝性難聴に対する精密医療の現状と将来

2024年

10月30日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：松永 達雄先生

(国立病院機構東京医療センター臨床遺伝センター センター長  
感覚器センター聴覚平衡覚研究部 部長)

座長：岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会：村山圭 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

**概要**：難聴の発症は遺伝との関連が強く、先天性難聴者では約80%が遺伝性であり、さらに生後発症する遺伝性難聴者が追加されていきます。難聴の原因遺伝子は非常に多く、難聴だけを発症する遺伝子が150以上、難聴と他の症状を発症する遺伝子は300以上あります。遺伝性難聴はほとんどが蝸牛の異常によるものですが、この器官は外から直接観察したり、一部の組織を採取して調べることができません。各種聴覚検査や画像検査である程度の分類は可能ですが、原因遺伝子の特定はごく一部の患者を除いては不可能です。一方、遺伝学的検査で原因遺伝子が判明すると、その時点の症状や他の検査結果とも合わせて検討することで、より正確に難聴と随伴症状の経過予測、治療方法の選択、再発率の推測などができます。最近10年でこのような難聴の精密医療が著しく進展しました。今年に入ってから難聴の遺伝子治療の劇的効果が報告されるなど、精密医療の範囲が拡大しています。本セミナーでは、本医療の最新情報をお伝えするとともに、国際的潮流も紹介していきます。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/wS55TS5y7MyX1tJF7>

本講演はハイブリッド形式 (現地 + Zoom)

にて開催いたします。

10月29日 (火) 17時締切



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

村山/金野 (内線72462/5794)

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP

